



宇都宮義真撮影

「冬の下田富士」



讃光譜



光線のいろいろ

光線とは明るくて物が見える光、即ち可視光線だけと思っている人がいますが、光線には赤外線や紫外線のように目に見えない不可視光線もあります。

太陽光線には赤外線と可視光線と紫外線の三種の光線が混合していますが、大部分は赤外線です。可視光線は約20%で紫外線は僅かに5%以下です。

赤外線は温く感じられますが、普通の熱と異なる点は熱そのものではなく、物体に吸収されて始めて熱エネルギーに変化する点にあります。

紫外線は全く熱作用がありませんが、光化学作用の一番強い光線です。

可視光線は目に見える光で、虹の七色に分けられ、熱作用と化学作用があります。

光線には何万種類もの波長があり、作用も違いますが、速力と同じで一秒間に三十万キロメートル（地球七周半）です。

「万病に効く」

日光が万病に効くのは、太陽

光線の中に紫外線、可視線、赤外線が含まれているためである。

医学博士 長橋 正直

光線は物をつくる

生物は今から何億年も前に、太陽光線の作用で海水中に生じたと言われていますが、光線には自然界に不可欠ないろいろな物質を合成する作用があります。

例えば植物は、葉緑素が太陽エネルギーを吸収し、炭酸ガスと水から酸素と炭水化物をつくる光合成を営みます。

ビタミンDは類脂肪体のエルゴステリンと光線が化合してできることを発見し、合成法を完成したドイツのウィンダウス教授は、ノーベル化学賞を授与されました。

「自然の強壮剤」

日光と言うものが我々が生きて行く上にどれ程必要であるかということ意識せず、また自然の与えた強壮剤を利用することなく、医薬のみにすがって悶々としている患者は決して少ない。

医学博士 小酒井 不木

光線は

エネルギーである

日光と空気と水と食物は健康の四大要素と言われていますが、何れも外見が余にも平凡なために、却って人々はその偉大な恩

光線の話

宇都宮 義真

恵に気付かないのです。

空気は手にとれず目にも見えませんが、嵐になれば大きな家でも吹き飛ばす力があります。

日光も温和そのものの様に見えますが、レンズで集光すれば火を発する強いエネルギーを中に蔵しています。

この光線のエネルギーには、化学作用と熱作用という二つの大きな物理学的特性があります。

これを保健や病気の治療に応用したのが光線療法です。

「皮膚のパン」

日光は皮膚のパンである。吾人は消化器から食物と、肺から空気を摂取する如く、皮膚から日光のパンを摂取しなければ生活し得ないことは言うまでもない。

医学博士 西山 義方

「人工光線」

強力な炭素弧光灯（サナモア）は太陽と同じ連続スペクトルを出すので、他の人工をもって自然に代えんとするものの様に価値のないものでない。自然の太陽光線に比して、如何なる時にも使用し得る点に於て優っている。

医学博士 高木 逸雄

「健康と光線」

昭和26年4月発行

— 光線の話 —
より要約した。

(二) れまでも繰り返し述べた如く、ビタミンDは紫外線照射により皮膚で生成されるため、その他のビタミンの様に体内では生成されない必須栄養素とは異なるが、もし仮に紫外線照射を受けないとしたら、食品から摂取しなければならぬのでビタミンとしての性質を持つことになる。

(一) 一般的にビタミンの必要量は、先ずビタミン欠乏食で動物を飼育して欠乏症を作成し、次に一定期間ビタミンを与えてビタミン欠乏症が認められなくなる量を決め、これを最少必要量とする。次いでビタミン投与量を増してゆき、尿中排泄の臨界点、即ち投与量を増やしても排泄量が増えない点を飽和量として所要量を決定している。その上、水溶性のビタミン（ビタミンB群やCなど）は過剰に摂取しても尿中に排泄されてしまい、重症な中毒症状を伴うことはまずないと考えられている。

例えれば北極圏に住むエスキモーにとって、例年半年間は紫外線を浴びない生活が続くので、この間は食品からビタミンDを摂る必要がある。そこでヒトが全く紫外線を浴びないと仮定した場合に、健康を維持し正常な機能を営むために要するビタミンDの最少必要量はどれくらいか、また如何なる食事で補えるのが問題となる。この点に関しては、一応の目安はあるがまだ完全には解決していない。

然るにビタミンDは体内で生合成される量の測定が難しいことに加えて、僅かに糞便中に排泄されるだけで尿中には殆ど排泄されず、脂溶性ビタミンのため体内に蓄積され、口から取り過ぎると過剰症を起こすなど、飽和量を求めることは極めて困難である。このため便宜的に最少必要量に安全率をかけて所要量としている。

(現) 在ビタミンD (抗クル病因子) の国際単位 (IU) は、乳離れ直後の雄のラット (体重約 50 g 前後) をクル病食 (トウモロコシ粉 76%、小麦グルテン 26%、炭酸カルシウム 3%、塩化ナトリウム 1%、水溶性ビタミン 0.2%) で 3 週間飼育してビタミンD 欠乏ラットを作り、このラットにビタミンD の結晶または試料を 0.1 ml の綿実油に溶かして直接胃内に一回投与して 7 日後に解剖し、骨端軟骨部の石灰化の程度を観察するラインテスト (Line test) 法と呼ぶ試験法によって決めている。なお対照群のラットには綿実油のみを投与する。

この試験法を用いて骨端軟骨部切断面の石灰化を調べると、対照群では全く石灰化を認めな

その 20

应用光線療法学 (32)

☐ ビタミンDの作用 ☐

その 29

シイタケ	6 IU	本マグロ(生脂身)	1300IU
牛乳	2	本マグロ(生干)	100
人乳	5	ブリ(生)	360
調製粉乳 400 ～ 625		サンマ(生)	340
バター	80	カツオ(生)	420
ウシ肝	100	カツオブシ	430
レバーペースト	90	ウナギ(かばやき)	170
卵黄	30	ウナギ(きも)	90
全卵	10	サバ(生)	330
サケカン(紅色)	800	マイワシ(生)	530
マス(生)	210	マイワシ(メザシ)	140
マス(塩)	370	サツマアゲ	450
ボラ(生)	100		
ワカサギ	30		

新鮮食品 100 g 中のビタミン D 含有量
(科学技術庁資源調査会編)

医学博士
宇都宮 光明

いるが、ビタミンD投与群では投与量を増すことにより石灰沈着が比例的に増加する。即ちビタミンD \cdot 〇・二五 μ gで石灰化が始まり、〇・一 μ g骨端部を横断する石灰化を認め、〇・三 μ gまでは石灰化が促進する。この成績からWHO（世界保健機構）は、結晶ビタミンD \cdot 〇・二五 μ gの活性を1IUと定めたのである。従つて、〇・一 μ gは4IU、1 μ gは40IU

れているが、一九七〇年にWHOが定めた値に準じて決められている。

WHOは1日当たりのビタミンD所要量を、出生から6歳まで四〇〇IU（厚生省は出生から5歳まで）、7歳以上一〇〇〇IU（厚生省は6歳以上）、妊婦、授乳婦四〇〇IU（厚生省は妊婦前半期、妊娠後半期、授乳期には加量として三〇〇IUを加

U、1gは四、〇〇〇万IUに相当する。

(と) × × ×
ところでヒトはどれくらい
のビタミンDを摂取すれば欠乏
症を防ぎ、しかも過剰症を起さ
ずに健康を維持できるのであ
ろうか、この点に関しては、各
国で日照条件や生活環境が異な
るせいもある種々の見解があ
った。本邦のビタミンD所要量
は、昭和54年に厚生省が発表し
た日本人栄養所要量表に記載さ
れる」とした。

この数値は欠乏症の予防も然
る事ながら、過剰症を起さな
い安全量に対する配慮がなされ
ている。例えば育児用の調製粉
乳には、くる病を防ぐため四〇
—六二五IUのビタミンDが添
加されている。しかし乳幼児が
どの程度光線を浴びたかは著
しい個人差があり、従って体内
にあるビタミンDの量も各々異
なる。それ故、過剰症を生じる
危険のない量で基準値は決めら

れているのである。

× × ×

(最) 近、健康のため各種のビタミン剤を愛用する人が増えているが、ビタミンDに関する限り、自分の判断でビタミンD剤を飲むことは絶対にしてはならない。過剰に摂取し過ぎると重大な弊害をもたらす(ビタミンD過剰症) 危険がある。

× × ×

(食) 品のビタミンD含有量について補足しておく。ビタミンDは植物性食品には全く含まれておらず、動物性食品もごく一部の食肉を除くと殆ど含まれていないため、食物中のビタミンDだけで必要量を満たすのは容易ではない。

新鮮食品一〇〇g中のビタミンD含有量を参考のため表に示した。因に母乳に含まれるビタミンDは僅か5IUで、ビタミンDを添加する前の牛乳は2IUでしかない。

(二) $\times \times \times$ これまで再三述べた如く、自然の摂理に従って紫外線の助けを借りて皮膚で生合成していれば、絶対に過剰症を起こさなない。反面、皮膚に於ける産生量は未だ明確ではないものの、母乳が殆どビタミンDを含まないのに時々日光浴をさせて貰っている乳幼児は決してくる病にかからないことから考えても、生体には生みながらに必要量といとも簡単に合成する能力がある。

癌治療にサナモアを併用した二症例

ウエノ光線療法

上野 貞

現在、最も治療の難しい病気が恐らく癌（がん）でしょう。中でも早期手術の時期を失した場合には、今なお確実に有効な治療法は知られていないようです。そのためサナモア光線療法について相談を受けたり、実際に癌の治療に併用する機会が増えています。サナモアは癌に伴う症状を緩和して幾ばくかでも苦痛を和らげますし、忌むべき副作用もありませんので、多少なりとも役に立つことを願ってご使用頂いてきました。今回は二症例を報告しますが、症例1は昨年1月の本紙（No.244）に掲載した症例のその後の経過報告です。

症例1

喉頭癌

患者は72歳になる男性です。本例は昭和60年10月に喉頭癌と診断されましたが、一般状態が手術に耐えないとの判断から放射線療法を一昨年の3月（25回）と5月（12回）に受けています。なお癌の診断を下されてから此の方、娘さんのすすめで病院の治療に併用して光線療法を始めましたので、これまで約2年間続けています。光線療法は、喉はサナモアBDカーボン、喉以外はサナモアADカーボンを主に使用し、喉は集光1号を使い、正面10分、両横および後

方から各5分、他に腹、膝、足裏、腰、背各5分、出来るだけ朝夕2回照射するよう指示しておりました。患者はほぼ週に一回の割合で治療かたがた経過を見せに来所していましたが、昨年の秋口までは大変に順調に経過しました。

ところが10月末に、左耳後下方の頸部に約1センチ×2センチ位の硬いものが腫瘤状に盛り上がっているのに気付いたので、そこで従来の治療に加えて患部へサナモアCDカーボンを使って、集光1号で10分、集光2号で15分、朝夕照射するよう

に指示しました。しかし照射に伴って患部に痛みがありましたので、2、3回治療したところでサナモアBDカーボンに変えております。

当初は回りに小さなイボの様なものが、5、6個ありましたが、2週目にはすっかり無くなりました。しかし腫瘤の表面は褐色に変わり、大きさは約2センチ×3センチになりました。また小さな穴から膿のような汁が出始め、3週目にはガーゼに付くようになりました。

現在継続治療中ですので、今後の経過は後日お知らせ致します。

愛用者だより

☆ギックリ腰

広島県大竹市 杉本 梢

れたと思って井川先生の所へ行ってみてはと勧められ、半信半疑で伺ってみました。井川先生からは大変懇切に指導を受けサナモアの治療をして頂きましたところ、初めてなのにくまなく効果が出て、治療が終わった時には足の底が軽くなった感じがしました。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けております。ところは、皆様方よくご存じの通りであります。ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サナモアABC Dと効果が同じという根拠もないうたい文句で交換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので呉々もご注意下さい。（サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標IBIのマークが必ずついています。）

東京光線療法研究所

症例2

肺癌

患者は68歳の男性です。

肺癌の診断で入院し化学療法を受けています。本例は退院してからサナモア光線療法を希望して来られた方です。なお来所時の主訴は、胸痛と入院中に受けた点滴で手がしびれて上に上

がらないことです。

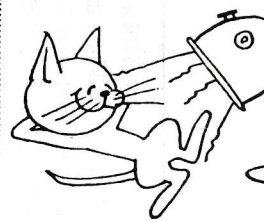
光線療法はサナモアADカーボンを使用し、腹部、膝、足裏、腰、背各5分、右肺患部に集光1号で5分、喉頭部5分、朝夕2回照射しました。その結果、三カ月後には胸痛がなくなり、手のしびれも次第によくなっています。

サナモア光線療法を始めてからの体調は大変によく、1カ月に1度は経過観察のため来所しています。

神戸市中央区下山手通三一五一
TEL078(332)1358

投稿のお願い

愛用者だよりを募集して



一治験例報

肩凝り二症例

肩凝りとは、首筋から肩、背中にかけて筋肉がこわ張って、重苦しく感じたり、鈍い痛みを感じたりする状態を言うことは御存じの通りです。従って、病名と言うより寧ろ症状名です。肩凝りを起こす原因は多種多様で、過労、ストレス、不自然な姿勢、目の使い過ぎ、頸椎の病気、血圧の異常などがあります。

今回、たまたま前田、海渡両先生の治験例が、肩凝りを主訴とした症例でしたので纏めて掲載させて頂きました。

症例1

前田光線治療所

前田 ミサ

患者は55歳の女性で、職業は生花教師です。

これ迄にも反復して肩凝りを起こしましたが、2、3回按摩やマッサージにかかるとすっきりしていました。しかし今回は

山口県岩国市の井川先生のご紹介でサナモアを愛用させて頂いております。

七十才になる私ですが、昨年の正月三日よりギックリ腰になりあちらこちらの外科医はもとより、あんな、ハリの施術をうけましたが結果はあまりおもしろくなく、毎日痛い痛いと困惑しておりました。そんな折り私方に永年勤めに來てくれている山田さんと言う婦人の方より一度だけ騙さ

山にズボンをはけるまでになりました。

思いもよらぬ事なので嬉しくて、内心サナモアの偉大な効果にただただ感心しておりました。

その後三回目の治療の折り、先生にサナモアをお願いして手に入れ、以来毎家庭での治療に努めております。現在ではあれほど頑固だったギックリ腰も、もう少しで全快ともいえる位になりました。

右足も今少しで、かくと白い粉が出る部分が親指位に縮小してまいりました。

これも、サナモア光線のお蔭と心から有り難く感謝致しております。

七十才になるクラスメート二名に、また、広島市に嫁いでいる娘宅にもサナモアを紹介し、それぞれ大変喜ばれております。

遅くなりましたが近況を報告いたします。

形式は問いませんので、ふるって投稿下さい。

当院では充分な治療時間をとるために同時に2台の治療器を駆使してサナモア光線療法を行っています(2灯照射法)が、ここでは照射部位および時間を述べるに止めます。

この症例にはサナモアABカーボンを使用し、首(1号集光器)10分、左右の耳(2号集光器)各5分、背10分、腰10分、下腹部10分、左右横腹各5分、肛門5分、膝5分、左右膝外側から各5分、足首5分、足裏10分、顔五分照射しました。

後にサナモアBDカーボンで両乳房に1号集光器を使用して各30-40分照射しました。

初回の治療でとても楽になり、2回目、3回目は照射時間も短時間で済みました。乳房の凝りがなくなるに連れて首筋から肩の凝りや痛みを忘れるようになり、身体全体が軽くなり、笑顔も出るようになりました。

明日からはばりばり仕事ができるかと喜んで帰って行きました。

福岡県春日市桜ヶ丘八—三
TEL092(581)2039

症例2

東京光線治療院

海渡 一一二二

患者は45歳の男性です。
三カ月前より首筋から背、肩

はありませんし、整形外科でも検査上はどこにも特別な異常は認めないと言われています。しかし以前から血圧が高めで、本態性高血圧症(最も多い高血圧症で遺伝傾向があるが原因はよく分かっていない)と診断されているとのことですので、今回症状を起こした誘因に高血圧が関係していたのかも知れません。

「これまでの苦しみが嘘のように気持ちがよくなった」と言って帰りました。翌日は治療中に「首の痛みがなくなった」とニコニコしていました。本例は異例と言えるほど速やかに症状が消失したため3回の治療で終了し、その後の経過を追っていますが、再発もなく順調に推移しています。

川崎市中原区丸子通二七〇
TEL044(722)5067

★病気の原因

について

病気の原因には「外因」と「内因」がありますが、ともすれば「外因」が重視され勝ちです。しかし罹患、発病には患者側の因子、即ち「内因」が大きく関わっています。

一薬の不足は病気の原因にならないが
光線の不足は病気の原因になる一

身体から治す光線療法

医学博士 宇都宮 光明

す。例えば感染症の場合、細菌やウイルスのような「外因」に接しても罹る人と罹らない人がいる。偏に「内因」としての身体抵抗力があるか否かに関係します。

骨が脆くなるのはカルシウムの不足が原因と思っている人は沢山います。くる病、骨軟化症、骨粗鬆症の原因が、もしも単に食事のカルシウムが足りない（外因）だけだとしたら、これらの疾患はカルシウムを与えられ

ば治る、とるに足りない病気になるってしまいます。鶏卵一個の殻には約2gのカルシウムがありますから、一日の必要量は卵殻一つで十分に補えます。しかし実際に骨が病的に脆くなる主要な原因は内因にあります。即ち日光を浴びる機会が減ったためビタミンDが欠乏する結果、食事の中のカルシウムを吸収、利用する上で必須な働きをするビタミンD依存性カルシウム結合蛋白が不足（内因）し、幾らかルシウムを摂っても利用できずに便中に排泄してしまうのです。

要するに病気の真の原因は、寧ろ「外因」より「内因」にあります。光線療法が健康面のみならず殆ど万病に対して有効に作用するのは、内因に働いて身体の高めるからであり、蓋し真に不可思議な人体工場の原因力は光線なのです。

★病気を治す

自然治癒力

今から約二千五百年前にギリシャに生まれた医聖ヒポクラテスが、「身体の中にある自然の治癒力」を働かすには、食物、日光、水、空気、休息といった養生法に意を用いなければなら

ないと説きましたが、病気を治癒する上で真髄を鋭く突いた至言というべきであり、これこそ自然の理に合っています。

誰もが知らぬ間に病気に罹り、知らぬ間に治っています。また発病した場合も、病気の軽重を問わず、治る過程に各人の自然治癒力が悉く関わっており、自然治癒力が低下している病人は、如何なる名医、良薬を以てしても助けることは出来ません。

★治療の選択

病気の治療法というと、薬物療法と手術療法しかないと思いがちです。このような人は適当な薬がなく手術も出来ないとなると、治療法はないと決め付けています。それほど薬と手術は過信されていますが、大部分の薬物療法は対症療法に過ぎませんし、病巣部を切り取る手術療法も万止むを得ざる場合を除いてすべきではありません。

病気に苦痛は付き物ですが、多くは原因から治す効果的な治療法がないこともあって対症療法が行われます。例えば風邪と診断されて風邪薬を貰い症状が軽快しても、治すのは自身の体

力であって風邪薬ではありません。まして薬は一歩間違えると薬害で苦しむ羽目になります。中でも現在広く使われている副腎皮質ステロイドホルモンの対症効果は、皮膚病からリウマチや喘息に至るまで、瞬時にして無症状にするほどです。しかし原疾患を治さない上、取り返しのつかない重篤な副作用を起こすため使わない方が良くとされていますが、他の薬剤の遠く及ばない効果があるため今でも可成り使われています。

手術の乱用も戒めなければなりません。現今、癌の早期発見、早期手術が強調されるあまり、他の良性疾患の手術を急ぎ過ぎで後悔する人は沢山います。しかし殆どの手術は寧ろ晩期手術で十分です。

光線療法は薬物療法や手術療法とは根本的に異なり身体から治す治療法です。光線は自然治癒力を高めますが、ここに光線療法の真骨頂があり万病に使える根拠があります。

★家庭で出来る

光線療法

家庭療法として普及する条件は、簡便かつ安全で、普通の人が誰でも操作でき、使用に伴

う弊害はなく、確かな効果があることです。

サナモア光線療法の使用法は簡単至極で特別の技巧は要りませんし、「光線療法学」を参考にすれば普通の人が直ぐ使えます。また光線の物理的特性は太陽光線と全く同じですから、日光浴を楽しめる人なら安心して使えます。

加えてサナモア光線療法の健康法を兼ねた自然療法としての特質を最大限に引き出すには、毎週少なくとも2-3回照射する必要があります。また不時の病気の際に何時でも使うためには一台常備して置くことが重要です。それに使う時には時間と場所と人手が要りますが、他人を煩わさずに全て自分で間に合わせる事が可能です。これが家庭療法としてサナモアが普及した理由です。

将来的には私たちの日常生活から太陽は益々遠ざかりますから、健康面からも意識的に光線を浴びる必要があります。また近時、疾病治療に於ける光線の意義を認めて下さる方は著しく増加し、昭和7年に東京光線療法研究所を設立した頃比べれば、正に驚異的と思える普及を見るに至りました。

サナモアによる膝関節障害の治療について

山口県 井川カイロプラクティック光線療法研究所

井川 豊信

前回(本紙242号)、「サナモアによる肩関節障害の治療について」述べたが、今回は膝関節障害の成因に関する考察に加え、その治療成績について報告する。

1. 膝関節の機能

人が立って歩くのに必要な骨盤を支点とした股関節、膝関節、足関節は、皆実に巧妙に設計されており、人間が何十年と云う風雪に耐え乍ら生きるのに堪えぬ貢献をしている。しかし彼の有名な米国カイザークリニックのカリエット博士が述べているごとく、「膝は人体の中で構造的、機能的に極めて複雑な関節で、二本足で歩く人間の膝は一生の間毎日のようにストレスや損傷にさらされている。従って、膝の関節障害はあらゆる筋骨格系の障害のうち発生率は最も高い」のである。また藤原 知博士は著書「運動生理学」で「身

2. 膝関節疾患の原因について

ここでは、外傷(打撲、脱臼、靱帯断裂、骨折等)、リウマチ、腫瘍等によるものは除外し、身体平衡、即ちアライメントが膝関節に及ぼす影響について言及する。

日頃実際に経験する殆どの患者は、何時とはなしに膝が痛くなり、次いで次第に悪化して痛みのために関節の動きが制限される。また炎症が高度になると関節内に水(関節液)が溜るようになる。このような状態では

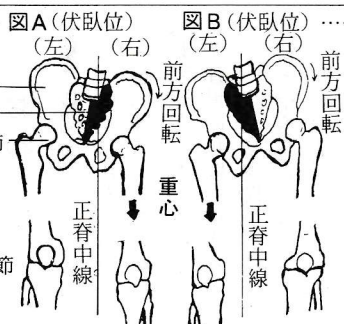
歩行が困難になり、正座も出来なくなる。

これらの患者を問診すると、過去か現在かに必ず腰が悪かったことに気付く。而して膝の痛み具合は、大別して次の二つの型がある。

- (1) 初めは右(又は左)で、それが或る時期に自然に治り、今は反対側が痛い。
- (2) 片側の痛み。

一般的に(1)は慢性化しており、腰痛を含め治るまで時間がかかるのに対し、(2)は急性型が多く比較的短時間で治る場合が多い。

扱、患者を触察すると、図A、図Bに示したように重心線(体

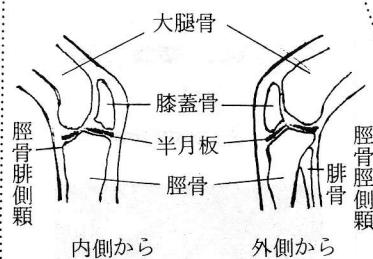


見かけ上の脚長が異なる。

表 1.

順序	部位	カーボン		姿勢	目的
		種類	時間		
1	仙骨部	A B 又 B B	15分	側臥位	患部(腰、膝)の痛みを和らげ、血液の循環を良くし、重心の偏向による疲労を早期に回復させる。
2	膝関節 1)外側 2)内側	A A 又 B C	各10分	腰掛けの姿勢 (図C参照)	滑膜(関節包)や関節軟骨(半月板)の炎症を鎮め、損傷を修復し、速やかに腫脹を取り除く。椅子に腰掛け、両足をダラリと下げた状態で照射する。
	膝関節 3)後部	B C 又 A A	10分 圧痛部 10分	側臥位	後部は軟部組織で被われているために光線が透過し易く、消炎鎮痛に効果的である。なお内側半月板が損傷を受け易いので(内側に圧痛がある)、集光器は内側に向けるとよい。
3	足首	B C	10分	仰臥位 又 腰掛けの姿勢	膝関節に異常に貯留した関節液の吸収を促進する。

図C. サナモア照射部位



重)の流れがどちらかの膝関節を圧迫する、即ちアライメント(平衡)の異常が観察され、これが膝関節障害の原因に係わっている。なお、(1)の場合は悪いほうを庇う代償作用で気付かぬうちに反対側を痛めている例が多い。

従って、治療に際して重要なことは、仙骨の中心を正中線に戻すのは勿論のこと、骨盤が傾くような動作、例えば横座りや左右どちらか一方に腰を振る運動(ゴルフ等)や長時間左右どちらかに体重をかける立仕事などをした後は、反対に矯正するように努力しなければならない。また両方の関節を平等に広げる運動、例えば入浴時に固く絞ったタオルを膝の後面にしっかりとさみ込み体重をかけ乍らゆっくり曲げることは、常に体重により圧迫されている関節面を広げることになり有効な配慮である。

(八ページへつづく)

(セブページからつづく)

3. サナモアの

効果と治験例

膝関節疾患に対するサナモアの照射法を表1にまとめたが、目的に合わせ、順序よく実施することが大切である。カーボン局所の腫脹の程度により選択し、取り替えては効果をみる。また照射部位は図Cに示した。

押し並べて膝が悪い人は、早く治って社会復帰したいと云うが、歩きながら治療するのだから相当の根気と辛抱が要することは云う迄もない。しかし1年間毎週のように水を抜いていた74歳の老人を始め、よく辛抱してサナモアの恩恵で完全に治癒した人は枚挙にいとまがない程ある。今回は治験例として急に膝関節痛を起こした小児の2例を報告する。

治験例1、11歳(小学5年生)。

昨年10月に突然膝の痛みを訴え16日間休学した。この間五つの病院を受診した。

A病院…単なる成長痛と診断検査には異常を認めないのとこと。

B病院…レントゲン、血液検査の結果、骨肉腫を疑われC病院を紹介された。

C病院…再検査で骨肉腫は否

定されたが、患者は激痛で夜も眠れない。

B病院…再びB病院で両膝に痛み止めの注射をしたが、痛みが止まらない。

D病院…腰と膝のレントゲン検査を受けたが異常なし。

E病院…D病院から紹介され受診したが、このまま様子を見よとの診断。

以上の経過を辿るも膝の激痛は一向に改善せず、途方に暮れていたところ当所を紹介された。なお初回来院時、痛みのため治療台に自力で上がれない状態であった。

本例は前記要領で治療した結果、2回目には概ね痛みがとれ、1カ月で完治、今は元気に通学している。

治験例2、6歳、男児。

川崎病で入院加療中に右膝関節の腫脹、疼痛を訴え、歩行困難となる。そのため寝台で砂袋を用いて右足の牽引をしたが良くならず、膝の腫脹、疼痛はあったが、川崎病が落ち着いたので退院した。

通院後に膝の治療を希望して、痛みのためびっこを引きながら(跛行)来院した。

本例は週に1回治療したが、20日後にはほぼ完全に治り、今

は野球に熱中している。

夫れ夫れの家庭ではサナモアを購入し、現在愛用されている。

4. おわりに

私は膝関節障害の治療に当たって、両足にかかる体重のバランスを均等にするところから始めなければならぬと確信し、常に関連域の角度や広さをチェックし、患者にも関心を持つよう教育と指導をしてきた。その上で、血液の循環を促し、神経を再生し、炎症を鎮め、筋力を回復させる、サナモアはこの治療目的を達成するため、私のカイロプラクティック治療と表裏一体となつて、実に重要な役割を果たし多くの患者を救ってきた。それは正に陰と陽の存在と云つても過言でない。

完全に治癒した多くの方々がサナモアに感謝し、異口同音に「本当に助かりました」と云う。足と云う字は口を止めると書くが、歩くことは生きることと同じ意が含まれているから、生きる希望を与えられたのである。私はそれにほんの少し手助けしたに過ぎないのである。

山口県岩国市保津町一―三三―
一六 TEL0827(38)
0151

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)七九三―五二八―
七二―五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)